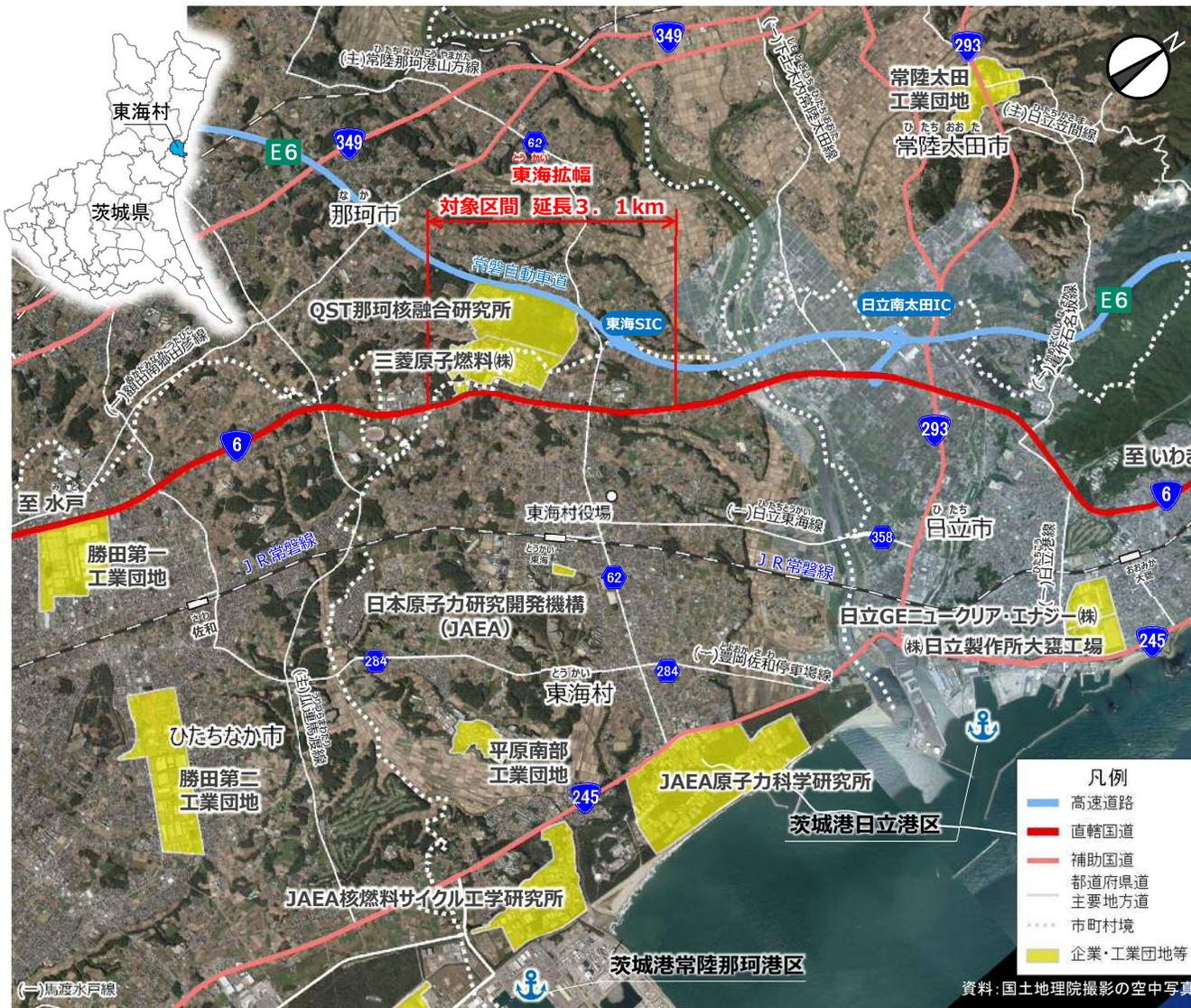


平成31年度 新規事業候補箇所説明資料

一般国道6号 東海拡幅

◆地域の状況

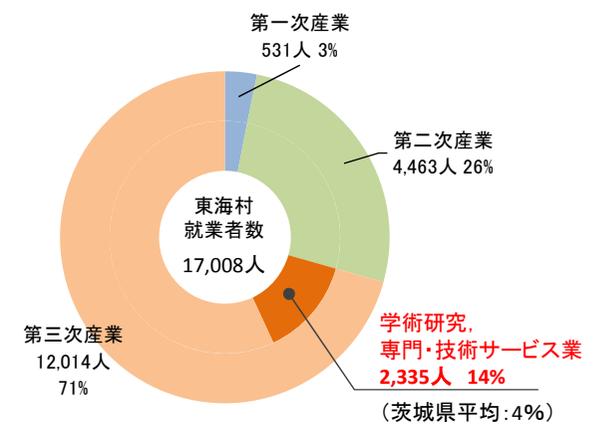
- 茨城県那珂郡東海村は、水戸市の北東約15kmに位置し、南北方向に常磐自動車道が縦貫、国道6号や245号、鉄道の沿線には市街地が形成されている。
- 国道6号は、水戸方面といわき方面を結ぶ幹線道路であり、交通が集中しやすい状況にある。
- 東海村には日本原子力研究開発機構(JAEA)が立地しており、周辺には大規模な原子力関連施設が立地し、産業別就業人口に占める学術研究、専門・技術サービス業従事者の割合は県全体の割合と比較しても高い傾向にある。



・人口	: 3.8万人 (1.6万世帯)
・面積	: 38.00 km ²
・人口密度	: 1219.6人/km ²
・可住地面積	: 31.49km ²
・高齢化率	: 24.2%

[人口/世帯/人口密度※] 住民基本台帳 (平成30年1月1日現在)
 ※人口密度は、平成30年1月時点の人口と可住地面積より算出
 [高齢化率※] 住民基本台帳 (平成30年1月1日現在)
 ※平成30年時点の人口総数と65歳以上人口より算出
 [面積・可住地面積] 統計でみる市区町村のすがた2018

● 東海村の産業別就業人口



[産業別就業者構成] 平成27年国勢調査

◆路線周辺の交通状況

箇所名	勝田拡幅	東海拡幅	榊橋	大和田拡幅
	S49.3開通	対象区間	H19.3開通	事業中
都計	S44	S60	S60	S60
計画	4車線	4車線	4車線	4車線
現状	4/4	2/4	4/4	2/4→4/4
延長	8.0km	3.1km	2.3km	3.3km



東海村村政懇談会

■趣旨

村長が村内に出向き、村政に対する説明を行い、
村民の率直な声を求めるための懇談会

出典：東海村村政懇談会開催要綱より

■最近の主な開催状況

平成30年度 7月～9月(全6地区)

平成29年度 6月～7月(全6地区)

平成28年度 6月～7月(全6地区)

東海村村政懇談会における国道6号整備に関する主な意見

平成29年6月(A地区)



【住民からの意見】

- ・国道6号の拡幅も村内だけ終わっていないので早急をお願いします

【東海村の回答】

- ・どのようにすれば事業化してもらえるか、今年度も検討していく

平成28年7月(B地区)



【住民からの意見】

- ・毎日のように、出退勤時には大渋滞が発生しており、早期の4車線化を要望します

【東海村の回答】

- ・関係市町村と連携し、早期の4車化に向け要望活動等を行っていく

東海村地域における計画段階評価

1. 東海村地域の課題

①国道6号の交通渋滞

○茨城県内の直轄国道の混雑度は1.2で全国1位である中、当該区間は混雑度が2.22と県内2車線区間でワースト1位(図1)



写真1 二軒茶屋交差点付近の混雑状況



資料:平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査
図1 東海幅周辺の国道6号の混雑度

②国道6号の交通事故

○東海幅区間の死傷事故率は全国平均の約1.7倍の115.8件/億台キロと非常に高い状況(図2)

資料:ITARDAデータ
全国平均:H28、東海幅区間:H25-28

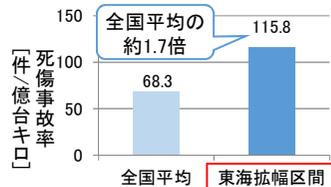


図2 死傷事故率(全国・東海幅区間平均)

③物流生産性を阻害

- 東海村周辺は重点港湾の「茨城港日立港区、常陸那珂港区」や多くの工業・物流施設が立地。(図3)
- 物流生産性の向上の観点から、産業関連施設の基幹となる道路であるが、著しい渋滞のため物流生産性を阻害している。
- 重点港湾周辺は津波浸水のリスクがあり、災害時の南北軸の物流確保が課題。(図4)



写真2 国道6号を通る物流車両



図3 東海幅区間周辺の産業関連施設等



図4 各路線の標高(A-A断面)

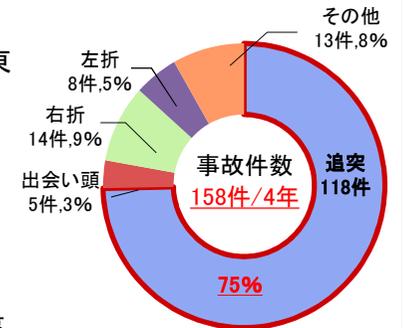
2. 原因分析

①交通容量の不足による渋滞や事故が発生

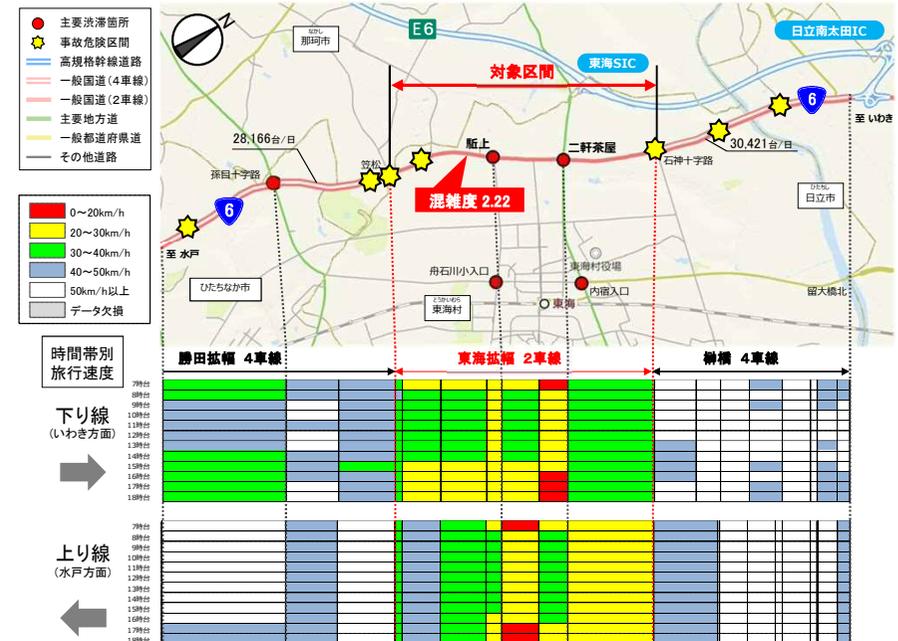
○当該区間の前後区間は4車線整備済みで、東海村地域区間が唯一の2車線区間となり、多くの交通が流入するため交通容量の不足による渋滞が発生(図5)

○特に主要渋滞箇所となっている駈上、二軒茶屋交差点ではピーク時間を中心に慢性的な速度低下が発生(図5)

○著しい速度低下が原因と考えられる追突事故が多く発生し全体の7割を占める(図6)



資料:ITARDAデータ(H25-28)
図6 東海幅区間の事故類型



資料:ETC2.0プローブデータ(H29.4-H30.3 平日)
図5 周辺道路状況と旅行速度

3. 政策目標

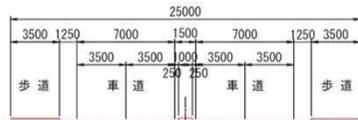
- ①交通容量の確保による交通渋滞の緩和
- ②渋滞に起因する交通事故の減少
- ③平常時、災害時を問わず物流を確保

東海村地域における計画段階評価

4. 対策案の検討

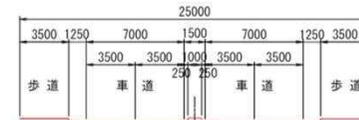
評価軸	【案①】現道拡幅案	【案②】バイパス案
交通容量の確保による交通渋滞の緩和	○ 4車線化により交通渋滞は緩和 混雑度 国道6号(那珂市境～二軒茶屋交差点) 【現況】 2.22 ⇒ 【整備後】 0.96	△ バイパスへの交通転換により、現道の交通量は減少し、交通渋滞が一部緩和 混雑度 国道6号(那珂市境～二軒茶屋交差点) 【現況】 2.22 ⇒ 【整備後】 1.25
渋滞に起因する交通事故の減少	○ 死傷事故率 国道6号(笠松交差点～石神十字路口交差点) 【現況】 115.8件/億台キロ ⇒ 【整備後】 83.5件/億台キロ	○ 死傷事故率 国道6号(笠松交差点～石神十字路口交差点) 【現況】 115.8件/億台キロ ⇒ 【整備後】 105.1/億台キロ
平常時、災害時の物流の確保	○ 平常時の渋滞緩和による物流の確保 災害時の津波浸水リスクを避けた南北軸の確保	○ 平常時の渋滞の一部緩和による物流の確保 災害時の津波浸水リスクを避けた南北軸の確保
沿道施設へのアクセス性	○ 沿道の工業用地や店舗等とのアクセス性が向上	△ 沿道の工業用地や店舗等とのアクセス性は向上しない
周辺環境への影響	○ 支障物件数は案②と同程度	○ 支障物件数は案①と同程度
コスト	約110億円	約135億円
総合評価	○	△

【案①】標準断面図



現道拡幅断面

【案②】標準断面図



バイパス断面

(単位：m)

(単位：m)



対応方針(案)：案①による対策が妥当

【計画概要】

- ・路線名：一般国道6号
- ・区間：那珂市向山～東海村石神外宿
- ・概略延長：約3.1Km
- ・道路規格：第3種1級
- ・車線数：4車線
- ・設計速度：80km/h

(参考) 当該事業の経緯等
 都市計画決定等の状況
 S60年～都市計画決定

地域の要望等

- H30.6：茨城県知事が要望
- H30.7：日立都市圏幹線道路整備促進期成会が要望
- H30.8：県央地域首長懇話会が要望
- H31.1：東海村長が要望

一般国道6号 東海拡幅に係る新規事業採択時評価

- 当該区間整備により容量を確保し、幹線道路の速達性向上および産業活動の支援に寄与
- 渋滞ボトルネックの解消により、著しい速度低下に起因する交通事故の減少に寄与
- 平常時・災害時を問わない物流を確保し、物流生産性向上の支援に寄与

1. 事業概要

- 起終点: 茨城県那珂市向山
～茨城県那珂郡東海村石神外宿
- 延長等: 約3.1km
(第3種1級、4車線、設計速度80km/h)
- 全体事業費: 約110億円
- 計画交通量: 約35,500台/日～約42,300台/日

乗用車	小型貨物	普通貨物
約29,400台/日	約5,000台/日	約7,900台/日

2. 課題

①交通集中による著しい渋滞が発生

- 茨城県内の直轄国道の混雑度は1.2で全国1位である中、当該区間は混雑度が2.22と県内2車線区間でワースト1位(図3)
- 主要渋滞箇所である駈上交差点、二軒茶屋交差点がボトルネックとなり混雑が発生している(写真1)



写真1 二軒茶屋交差点付近の混雑状況

②著しい速度低下による追突事故が発生

- 東海拡幅区間の死傷事故率は全国平均の約1.7倍の115.8件/億台キロと非常に高い状況(図4)
- 事故類型では著しい速度低下から引き起こされると考えられる追突事故の割合が約7割を占め、安全性に課題(図5)

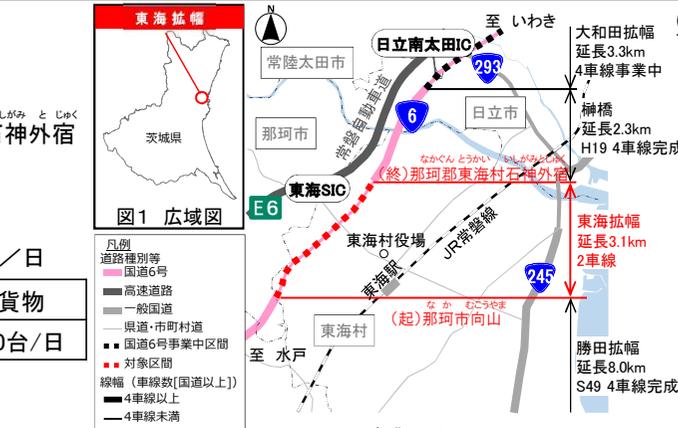
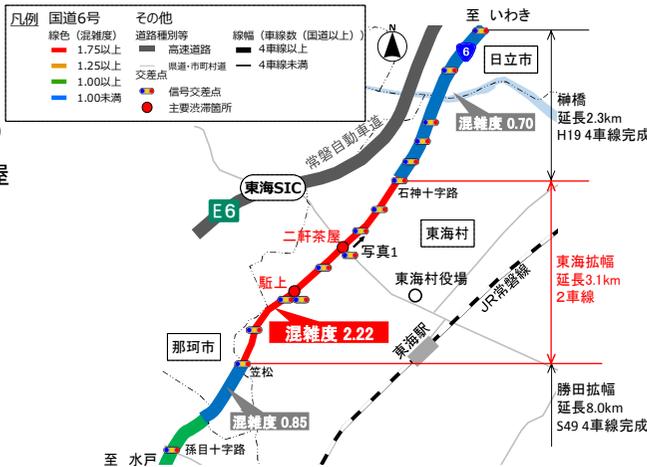
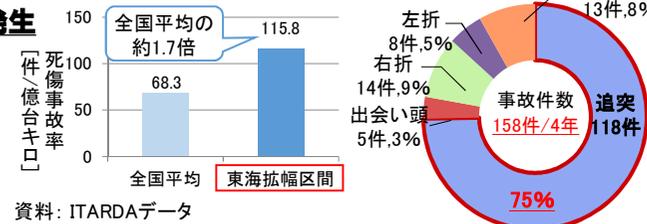


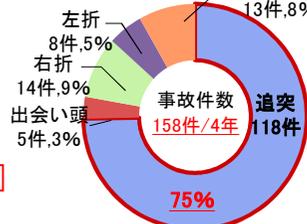
図2 事業位置図



資料:平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査
図3 東海拡幅周辺の国道6号の混雑度



資料: ITARDAデータ
全国平均: H28、東海拡幅区間: H25-28
図4 東海拡幅区間の死傷事故率



資料: ITARDAデータ(H25-28)
図5 東海拡幅区間の事故類型

③物流生産性を阻害

- 東海村周辺は重点港湾の「茨城港 日立港区、常陸那珂港区」や多くの工業・物流施設が立地。(図6)
- 物流生産性の向上の観点から、産業関連施設の基幹となる道路であるが、著しい渋滞のため物流生産性を阻害している。
- 重点港湾周辺は津波浸水のリスクがあり、災害時の南北軸の物流確保が課題。(図7)



写真2 国道6号を通る物流車両

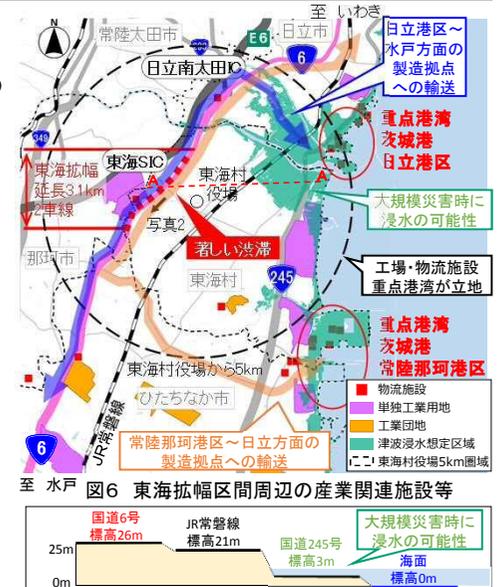


図7 各路線の標高(A-A断面)

3. 整備効果

効果1 幹線道路の速達性向上 [○]

- 当該区間整備により、容量を確保し国道6号の速達性向上

混雑度(約6割減少)
現況 2.22 → 整備後 0.96
○所要時間 [石神十字路交差点 ⇒ 孫目十字路交差点]
【現況】約9分 → 【整備後】約5分(約4分短縮)

効果2 幹線道路の安全性確保 [○]

- 渋滞ボトルネックの解消により、著しい速度低下に起因する交通事故の減少

死傷事故率(3割減少)
現況 115.8件/億台キロ → 整備後 83.5件/億台キロ
○追突事故件数 [笠松交差点 ~ 石神十字路交差点]
【現況】118件/4年 → 【整備後】107件/4年(約1割減少)

効果3 物流生産性向上の支援 [○]

- 重点港湾である「茨城港日立港区」、「茨城港常陸那珂港区」をはじめとする施設に対し、平常時・災害時を問わない物流を確保し、物流生産性向上の支援に寄与

B/C	EIRR※1	総費用	総便益
2.8	11.0%	79億円※2	223億円※2

※1: EIRR: 経済的內部収益率

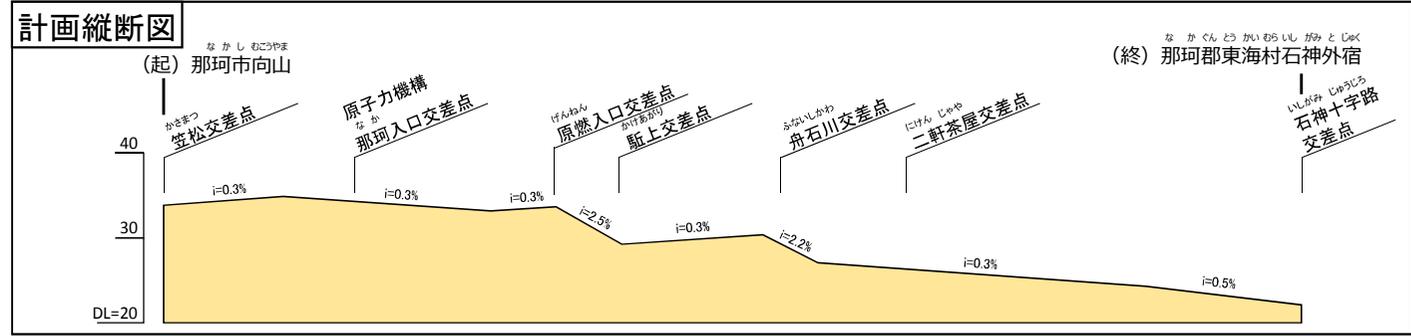
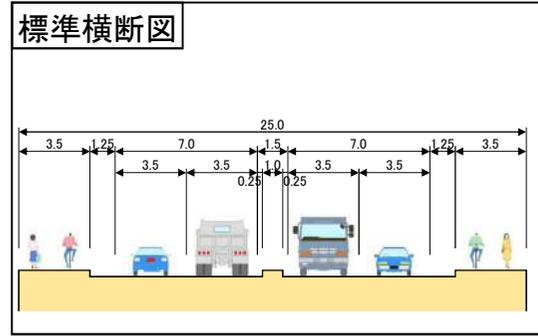
※2: 基準年(H30年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率: 4%)

一般国道6号 東海拡幅に係る新規事業採択時評価



凡例	
	対象区間
	高速道路
	一般国道
	主要地方道
	一般都道府県道
	主要渋滞箇所
	事故危険区間
交通量台/日	交通量 (H27一般交通量調査)
	市街地(集落)
	工業団地
	その他 (工場・研究施設等)
	主な施設
	市町村境界線
	車線数(2車線/4車線)
	津波浸水想定区域

全体延長 3.1km
 土工延長 3.1km(100%)
 橋梁延長 0.0km(0%)



費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP ・その他の別
一般国道6号	東海拡幅	L=3.1km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
35,500~42,300	4	関東地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成30年度		
単純合計	101億円	22億円	123億円
基準年における 現在価値 (C)	73億円	6.0億円	79億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成30年度			
供用年	平成43年度			
単年便益 (初年便益)	17億円	1.4億円	0.08億円	19億円
基準年における 現在価値 (B)	205億円	17億円	0.99億円	223億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	2.8
経済的純現在価値（事業全体）	144億円
経済的内部収益率（事業全体）	11.0%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析（事業全体を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	35,500~42,300 （台/日）	±10%	2.8~2.9
事業費	101億円	±10%	2.6~3.1
事業期間	12年	±20%	2.5~2.9

交通状況の変化

様式-3①

事業名：東海拡幅(事業全体)

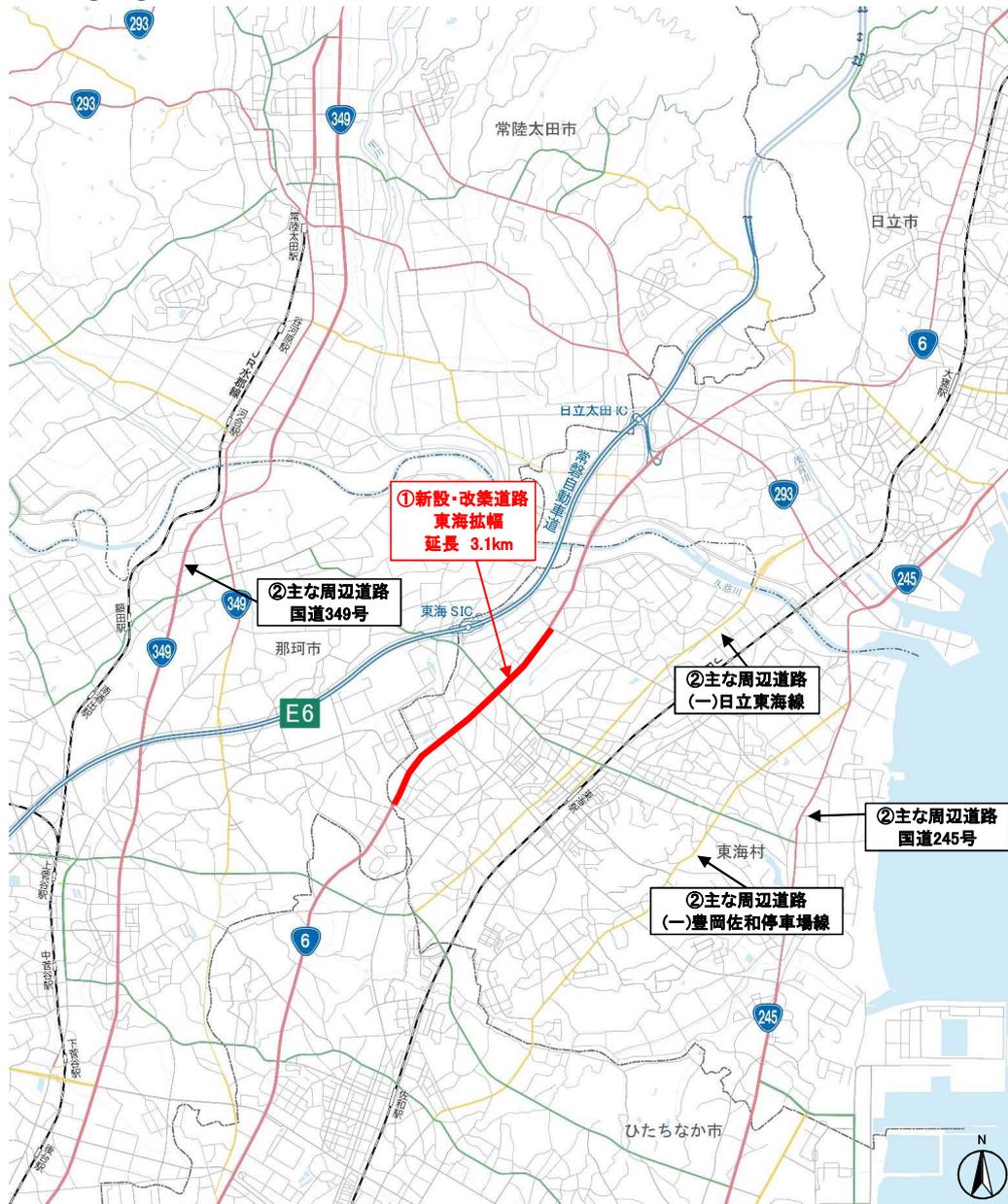
(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [東海拡幅]:3.1km	交通量	[台/日]	23,800	37,800	
	走行時間	[分]	5	4	
	走行時間費用	[億円/年]	23.72	26.33	
②主な周辺道路	国道245号 :7.8km	交通量	[台/日]	29,900	28,700
		走行時間	[分]	9	9
		走行時間費用	[億円/年]	50.93	47.66
	国道349号 :10.4km	交通量	[台/日]	17,600	15,200
		走行時間	[分]	11	11
		走行時間費用	[億円/年]	34.25	29.28
	(一)日立東海線 :4.0km	交通量	[台/日]	7,900	4,400
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	7.28	3.92
	(一)豊岡佐和停車場線 :6.8km	交通量	[台/日]	13,000	11,600
		走行時間	[分]	13	12
		走行時間費用	[億円/年]	28.66	24.49
③その他道路合計: 976.49km	走行時間費用	[億円/年]	1,906.17	1,897.71	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1008.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,022.35	2,004.90	17.45

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示



費用便益分析の条件

事業名:東海拡幅

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成30年度
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	<input checked="" type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

項目		チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用 <input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用 <input checked="" type="checkbox"/>	
		その他() <input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 当該区間を管轄する事務所における直轄国道の維持管理費実績に基づき算出	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である <input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない <input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する <input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	事業費を考慮 <input type="checkbox"/>
		維持管理費を考慮 <input type="checkbox"/>	
			当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)
その他			
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:東海拡幅(事業全体)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.15	3.1	0.48

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-12年目	H 31	0.9615	102.8	0.45	0.44		
-11年目	H 32	0.9246	102.8	1.09	1.01		
-10年目	H 33	0.8890	102.8	2.48	2.21		
-9年目	H 34	0.8548	102.8	4.28	3.66		
-8年目	H 35	0.8219	102.8	6.14	5.04		
-7年目	H 36	0.7903	102.8	11.20	8.85		
-6年目	H 37	0.7599	102.8	13.93	10.58		
-5年目	H 38	0.7307	102.8	14.47	10.57		
-4年目	H 39	0.7026	102.8	14.60	10.26		
-3年目	H 40	0.6756	102.8	10.91	7.37		
-2年目	H 41	0.6496	102.8	10.91	7.09		
-1年目	H 42	0.6246	102.8	10.20	6.37		
供用開始年次	H 43	0.6006	102.8			0.44	0.27
1年目	H 44	0.5775	102.8			0.44	0.26
2年目	H 45	0.5553	102.8			0.44	0.25
3年目	H 46	0.5339	102.8			0.44	0.24
4年目	H 47	0.5134	102.8			0.44	0.23
5年目	H 48	0.4936	102.8			0.44	0.22
6年目	H 49	0.4746	102.8			0.44	0.21
7年目	H 50	0.4564	102.8			0.44	0.20
8年目	H 51	0.4388	102.8			0.44	0.20
9年目	H 52	0.4220	102.8			0.44	0.19
10年目	H 53	0.4057	102.8			0.44	0.18
11年目	H 54	0.3901	102.8			0.44	0.17
12年目	H 55	0.3751	102.8			0.44	0.17
13年目	H 56	0.3607	102.8			0.44	0.16
14年目	H 57	0.3468	102.8			0.44	0.15
15年目	H 58	0.3335	102.8			0.44	0.15
16年目	H 59	0.3207	102.8			0.44	0.14
17年目	H 60	0.3083	102.8			0.44	0.14
18年目	H 61	0.2965	102.8			0.44	0.13
19年目	H 62	0.2851	102.8			0.44	0.13
20年目	H 63	0.2741	102.8			0.44	0.12
21年目	H 64	0.2636	102.8			0.44	0.12
22年目	H 65	0.2534	102.8			0.44	0.11
23年目	H 66	0.2437	102.8			0.44	0.11
24年目	H 67	0.2343	102.8			0.44	0.10
25年目	H 68	0.2253	102.8			0.44	0.10
26年目	H 69	0.2166	102.8			0.44	0.10
27年目	H 70	0.2083	102.8			0.44	0.09
28年目	H 71	0.2003	102.8			0.44	0.09
29年目	H 72	0.1926	102.8			0.44	0.09
30年目	H 73	0.1852	102.8			0.44	0.08
31年目	H 74	0.1780	102.8			0.44	0.08
32年目	H 75	0.1712	102.8			0.44	0.08
33年目	H 76	0.1646	102.8			0.44	0.07
34年目	H 77	0.1583	102.8			0.44	0.07
35年目	H 78	0.1522	102.8			0.44	0.07
36年目	H 79	0.1463	102.8			0.44	0.07
37年目	H 80	0.1407	102.8			0.44	0.06
38年目	H 81	0.1353	102.8			0.44	0.06
39年目	H 82	0.1301	102.8			0.44	0.06
40年目	H 83	0.1251	102.8			0.44	0.06
41年目	H 84	0.1203	102.8			0.44	0.05
42年目	H 85	0.1157	102.8			0.44	0.05
43年目	H 86	0.1112	102.8			0.44	0.05
44年目	H 87	0.1069	102.8			0.44	0.05
45年目	H 88	0.1028	102.8			0.44	0.05
46年目	H 89	0.0989	102.8			0.44	0.04
47年目	H 90	0.0951	102.8			0.44	0.04
48年目	H 91	0.0914	102.8			0.44	0.04
49年目	H 92	0.0879	102.8	-7.29	-0.64	0.44	0.04
合計				93.37	72.81	22.22	5.96
単純事業費計				100.66		22.22	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名:東海抜幅 (事業全体)

年次	年度 (基準年) H30	総走行台キロの年次別伸び率 (関東内陸ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 (1)×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×(2)	③	現在価値 (3)×(A)	便益合計 (1)~(3)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 43	0.99141	0.99073	0.99904	0.99254	0.6006	102.8	11.65	1.86	3.82	17.33	10.41	1.05	0.06	0.32	1.42	0.86	0.08	0.05	18.84	11.32
1年目	H 44	0.99134	0.99064	0.99904	0.99249	0.5775	102.8	11.55	1.84	3.82	17.21	9.94	1.04	0.06	0.32	1.41	0.82	0.08	0.05	18.71	10.81
2年目	H 45	0.99126	0.99055	0.99904	0.99243	0.5553	102.8	11.45	1.82	3.81	17.09	9.49	1.03	0.05	0.32	1.40	0.78	0.08	0.05	18.58	10.32
3年目	H 46	0.99118	0.99046	0.99904	0.99237	0.5339	102.8	11.35	1.81	3.81	16.97	9.06	1.02	0.05	0.32	1.39	0.74	0.08	0.04	18.45	9.85
4年目	H 47	0.99110	0.99037	0.99903	0.99231	0.5134	102.8	11.25	1.79	3.81	16.85	8.65	1.01	0.05	0.32	1.38	0.71	0.08	0.04	18.32	9.40
5年目	H 48	0.99102	0.99028	0.99903	0.99225	0.4936	102.8	11.15	1.77	3.80	16.73	8.26	1.00	0.05	0.32	1.37	0.68	0.08	0.04	18.18	8.98
6年目	H 49	0.99094	0.99018	0.99903	0.99219	0.4746	102.8	11.05	1.76	3.80	16.61	7.88	0.99	0.05	0.32	1.37	0.65	0.08	0.04	18.05	8.57
7年目	H 50	0.99086	0.99009	0.99903	0.99213	0.4564	102.8	10.95	1.74	3.80	16.49	7.52	0.98	0.05	0.32	1.36	0.62	0.08	0.04	17.92	8.18
8年目	H 51	0.99078	0.98999	0.99903	0.99207	0.4388	102.8	10.85	1.72	3.79	16.37	7.18	0.97	0.05	0.32	1.35	0.59	0.08	0.03	17.79	7.81
9年目	H 52	0.99069	0.98989	0.99903	0.99201	0.4220	102.8	10.75	1.70	3.79	16.24	6.86	0.97	0.05	0.32	1.34	0.56	0.08	0.03	17.66	7.45
10年目	H 53	0.99060	0.98978	0.99903	0.99194	0.4057	102.8	10.65	1.69	3.79	16.12	6.54	0.96	0.05	0.32	1.33	0.54	0.08	0.03	17.53	7.11
11年目	H 54	0.99051	0.98968	0.99903	0.99188	0.3901	102.8	10.55	1.67	3.78	16.00	6.24	0.95	0.05	0.32	1.32	0.51	0.08	0.03	17.40	6.79
12年目	H 55	0.99042	0.98957	0.99903	0.99181	0.3751	102.8	10.45	1.65	3.78	15.88	5.96	0.94	0.05	0.32	1.31	0.49	0.08	0.03	17.26	6.48
13年目	H 56	0.99033	0.98946	0.99903	0.99174	0.3607	102.8	10.35	1.63	3.77	15.76	5.68	0.93	0.05	0.32	1.30	0.47	0.08	0.03	17.13	6.18
14年目	H 57	0.99024	0.98935	0.99903	0.99167	0.3468	102.8	10.25	1.62	3.77	15.64	5.42	0.92	0.05	0.32	1.29	0.45	0.08	0.03	17.00	5.90
15年目	H 58	0.99014	0.98923	0.99902	0.99160	0.3335	102.8	10.15	1.60	3.77	15.52	5.18	0.91	0.05	0.32	1.28	0.43	0.07	0.02	16.87	5.63
16年目	H 59	0.99004	0.98912	0.99902	0.99153	0.3207	102.8	10.05	1.58	3.76	15.40	4.94	0.90	0.05	0.32	1.27	0.41	0.07	0.02	16.74	5.37
17年目	H 60	0.98994	0.98900	0.99902	0.99146	0.3083	102.8	9.95	1.57	3.76	15.28	4.71	0.89	0.05	0.32	1.26	0.39	0.07	0.02	16.61	5.12
18年目	H 61	0.98984	0.98887	0.99902	0.99139	0.2965	102.8	9.85	1.55	3.76	15.16	4.49	0.88	0.05	0.32	1.25	0.37	0.07	0.02	16.48	4.89
19年目	H 62	0.98973	0.98875	0.99902	0.99131	0.2851	102.8	9.75	1.53	3.75	15.03	4.29	0.88	0.05	0.32	1.24	0.35	0.07	0.02	16.34	4.66
20年目	H 63	0.98963	0.98862	0.99902	0.99123	0.2741	102.8	9.65	1.51	3.75	14.91	4.09	0.87	0.05	0.32	1.23	0.34	0.07	0.02	16.21	4.44
21年目	H 64	0.98952	0.98849	0.99902	0.99116	0.2636	102.8	9.55	1.50	3.74	14.79	3.90	0.86	0.04	0.32	1.22	0.32	0.07	0.02	16.08	4.24
22年目	H 65	0.98941	0.98835	0.99902	0.99108	0.2534	102.8	9.45	1.48	3.74	14.67	3.72	0.85	0.04	0.31	1.21	0.31	0.07	0.02	15.95	4.04
23年目	H 66	0.98929	0.98822	0.99902	0.99100	0.2437	102.8	9.35	1.46	3.74	14.55	3.55	0.84	0.04	0.31	1.20	0.29	0.07	0.02	15.82	3.85
24年目	H 67	0.98918	0.98808	0.99902	0.99092	0.2343	102.8	9.25	1.45	3.73	14.43	3.38	0.83	0.04	0.31	1.19	0.28	0.07	0.02	15.69	3.68
25年目	H 68	0.98906	0.98793	0.99901	0.99083	0.2253	102.8	9.15	1.43	3.73	14.31	3.22	0.82	0.04	0.31	1.18	0.27	0.07	0.02	15.56	3.50
26年目	H 69	0.98894	0.98779	0.99901	0.99075	0.2166	102.8	9.05	1.41	3.73	14.19	3.07	0.81	0.04	0.31	1.17	0.25	0.07	0.01	15.42	3.34
27年目	H 70	0.98882	0.98763	0.99901	0.99066	0.2083	102.8	8.95	1.39	3.72	14.07	2.93	0.80	0.04	0.31	1.16	0.24	0.07	0.01	15.29	3.19
28年目	H 71	0.98869	0.98748	0.99901	0.99057	0.2003	102.8	8.85	1.38	3.72	13.95	2.79	0.79	0.04	0.31	1.15	0.23	0.07	0.01	15.16	3.04
29年目	H 72	0.98856	0.98732	0.99901	0.99048	0.1926	102.8	8.75	1.36	3.72	13.82	2.66	0.79	0.04	0.31	1.14	0.22	0.07	0.01	15.03	2.89
30年目	H 73	0.98843	0.98716	0.99901	0.99039	0.1852	102.8	8.65	1.34	3.71	13.70	2.54	0.78	0.04	0.31	1.13	0.21	0.07	0.01	14.90	2.76
31年目	H 74	0.98829	0.98699	0.99901	0.99030	0.1780	102.8	8.55	1.32	3.71	13.58	2.42	0.77	0.04	0.31	1.12	0.20	0.06	0.01	14.77	2.63
32年目	H 75	0.98815	0.98682	0.99901	0.99020	0.1712	102.8	8.45	1.31	3.70	13.46	2.30	0.76	0.04	0.31	1.11	0.19	0.06	0.01	14.64	2.51
33年目	H 76	0.98801	0.98664	0.99901	0.99011	0.1646	102.8	8.35	1.29	3.70	13.34	2.20	0.75	0.04	0.31	1.10	0.18	0.06	0.01	14.50	2.39
34年目	H 77	0.98787	0.98646	0.99901	0.99001	0.1583	102.8	8.25	1.27	3.70	13.22	2.09	0.74	0.04	0.31	1.09	0.17	0.06	0.01	14.37	2.28
35年目	H 78	0.98772	0.98628	0.99900	0.98991	0.1522	102.8	8.15	1.26	3.69	13.10	1.99	0.73	0.04	0.31	1.08	0.16	0.06	0.01	14.24	2.17
36年目	H 79	0.98756	0.98609	0.99900	0.98980	0.1463	102.8	8.05	1.24	3.69	12.98	1.90	0.72	0.04	0.31	1.07	0.16	0.06	0.01	14.11	2.06
37年目	H 80	0.98741	0.98589	0.99900	0.98970	0.1407	102.8	7.95	1.22	3.69	12.86	1.81	0.71	0.04	0.31	1.06	0.15	0.06	0.01	13.98	1.97
38年目	H 81	0.98725	0.98569	0.99900	0.98959	0.1353	102.8	7.85	1.20	3.68	12.74	1.72	0.70	0.04	0.31	1.05	0.14	0.06	0.01	13.85	1.87
39年目	H 82	0.98708	0.98548	0.99900	0.98948	0.1301	102.8	7.75	1.19	3.68	12.61	1.64	0.70	0.04	0.31	1.04	0.14	0.06	0.01	13.72	1.78
40年目	H 83	0.98691	0.98527	0.99900	0.98937	0.1251	102.8	7.65	1.17	3.67	12.49	1.56	0.69	0.04	0.31	1.03	0.13	0.06	0.01	13.58	1.70
41年目	H 84	0.98674	0.98505	0.99900	0.98926	0.1203	102.8	7.55	1.15	3.67	12.37	1.49	0.68	0.03	0.31	1.02	0.12	0.06	0.01	13.45	1.62
42年目	H 85	0.98656	0.98482	0.99900	0.98914	0.1157	102.8	7.45	1.13	3.67	12.25	1.42	0.67	0.03	0.31	1.01	0.12	0.06	0.01	13.32	1.54
43年目	H 86	0.98638	0.98458	0.99900	0.98902	0.1112	102.8	7.35	1.12	3.66	12.13	1.35	0.66	0.03	0.31	1.00	0.11	0.06	0.01	13.19	1.47
44年目	H 87	0.98619	0.98434	0.99900	0.98890	0.1069	102.8	7.25	1.10	3.66	12.01	1.28	0.65	0.03	0.31	0.99	0.11	0.06	0.01	13.06	1.40
45年目	H 88	0.98600	0.98409	0.99899	0.98877	0.1028	102.8	7.15	1.08	3.66	11.89	1.22	0.64	0.03	0.31	0.98	0.10	0.06	0.01	12.93	1.33
46年目	H 89	0.98580	0.98384	0.99899	0.98865	0.0989	102.8	7.05	1.07	3.65	11.77	1.16	0.63	0.03	0.31	0.97	0.10	0.06	0.01	12.80	1.27
47年目	H 90	0.98559	0.98357	0.99899	0.98852	0.0951	102.8	6.95	1.05	3.65	11.65	1.11	0.62	0.03	0.31	0.96	0.09	0.05	0.01	12.66	1.20
48年目	H 91	0.98538	0.98330																		

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道6号	東海拡幅	4	3.1km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				5,109	
	改良費				1,188	
		土工	m3	101,500	303	
		法面工	m2	9,500	28	
		管渠工	m	5,936	418	
		排水工	m	6,200	204	
		中央分離帯工	m	2,900	81	
		縁石工	m	6,200	119	
		雑工	式	1	35	
	橋梁費				92	
		歩道橋	基	2.0	92	
	舗装費				1,147	
		車道舗装	m2	57,000	911	
		歩道舗装	m2	22,000	127	
		路床改良	m2	28,500	109	
	付帯施設費				232	
		交通管理施設工	式	1	232	
		遮音壁	m			
	電線共同溝				2,318	
		電線共同溝工	m	6,200	2,318	
	取壊し				132	
		As取壊し	式	1	132	
②	用地及補償費				4,315	
	用地費		m2		729	
		住宅地	m2	2,600	127	
		宅地見込地	m2			
		商業地	m2			
		準工業地	m2			
		工業地	m2			
		調区内宅地	m2	35,000	602	
	補償費		式	1	3,586	
③	間接経費		式		1,576	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				11,000	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

事業全体

参考様式2

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道6号	東海拡幅	4	3.1km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	3.1	400	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	2,000	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			2,400	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。